

[目次]

2016年7月号

特別記事

本会の法人化について ～法人化検討委員会による検討概要～ 高梨直紘、法人化検討委員会 2

論文
投稿

分光実験でアクティブラーニング天文学 藤田あき美 7

Mitaka を活用した教員免許更新講習
～岡山理科大学での7年間の実施報告～ 福田尚也 18

「この絵に描かれた星は何？」実施報告
～日周運動教材としての「ローヌ川の星月夜」～ 石坂千春 21

連載

宇宙を観じる生活を！(31) ～黄華堂ブログより～ 黄華堂 27

星座の名前と歴史(2) ～学名と日本語表記について～ 福江 純 31

花山天文台で行った生徒実習から【1】 太陽の5分振動の検出 西村昌能ほか 36

報告

2015年度東北支部会報告 寺藺淳也 43

第16回こどものためのジオ・カーニバル
～主に天文分野に関して～ 西村昌能、成田直 46

部分日食に対する公立小学校としての取組 河守博一 49

情報コーナー

2016年度役員の選挙結果と、決定した新役員の報告 選挙管理委員会 54

2016年天文教育普及研究会年会のお知らせ(第三報) 寺藺淳也 55

会合やイベント 編集委員会 64

最近出版された天文関連書 編集委員会 69

事務局からのお知らせ 事務局 71

編集部より

最近、衝を過ぎた火星が、夕空に明るく輝いていますが、火星は何色に見えるのでしょうか。ある方から、観望会で参加者に聞くと「赤」という答えが返ってくるけれど、どう見ても橙色だという話を聞いたことがあります。確かに、火星の色は、信号機の赤とも、広島カープの赤とも違って見えます。でも、私自身、夜、道を歩いている、火星が見えた瞬間に、心の中で赤だとも思うこともよくあります。人が感じる色は客観的ではなく、状況によって変わり、時には先入観に支配されるのかもしれませんが。

火星の英語名マーズ Mars は、ローマ神話

の戦争の神マルスに由来しますが、私には、火星はいつも、平和に穏やかに光っているように見えます。むしろ地球上こそ、色々なところで戦争やテロが絶えなかったり、日本では平和憲法が風前の灯になったり、戦争の神がいるかのようです。火星から、あるいはもっと遠方の宇宙から客観的に観察できるなら、地球や人間はどのような存在として見えるのでしょうか。

さて4年間、編集委員長を務めました、この7月号の編集で任期満了となり、退任いたします。長い間、ありがとうございました。

2016年7月 編集委員長 松村雅文